

九州兼喜

2017.6

No. 129

平成29年度

「全国安全週間」 にあたって

清水建設株式会社 九州支店 安全環境部 部長 森本 進吾

今年も『組織で進める安全管理 みんなで取組む安全活動 未来へつなげよう 安全文化』のスローガンのもと6月1日から6月30日を準備月間、7月1日から7月7日を本週間として第90回全国安全週間が実施されます。平成28年度は、全社で死亡災害2件、休業災害48件、九州支店は死亡災害1件、休業災害3件、不休災害69件でした。前年11件だった熱中症は、死亡1件を含め27件も発生し、福岡県や熊本県で多発しました。H29年度の九州支店安全衛生計画は、『基本に立ち返った安全管理の再徹底』を基に『墜落・転落災害の絶滅』『重機・クレーン関連災害の絶滅』『重量物等の倒壊災害の絶滅』『火災・インフラ損傷事故の絶滅』の4項目に加え、九州支店独自の重点施策として

- 5-1 『整理整頓』『安全第一』『一人KY』『声掛け』などを推進して危険を排除し無災害を目指す。
- 5-2 『実践で使える』作業計画書・作業手順書の作成及び現地フォローにより安全管理能力の向上を図る。
- 5-3 『合同巡回』を実施して、関係者へのOJTの強化や安全知識・意識の向上に努める。
- 5-4 『女性巡回』(ビューティーパトロール)を実施して安全・安心・キレイで魅力的な職場創りを支援する。
- 5-5 『熱中症対策』の強化と、新規取引会社・経験の浅い作業員の適正配置に努め熱中症災害の削減を図る。

の5項目に取組み、より一層の災害防止を目指します。特に熱中症に対しては、九州支店一丸となり、対策の強化を図り予防や重症化を防止して下さい。又、例年多発している切れ・こすれ、挟まれといった

災害を防止するため、『一人KY』に対する指導の徹底と、『一人KY』の習慣化を図るよう協力をお願いします。

ところで、『論語と算盤』のなかに『小事と大事』について記述があり『大事は小事の積重ねであり、小事を粗末にして大事を成功させることは出来ない』と書かれています。また、『思った通りにはならないが、やった通りにはなる』という言葉をきいたことはありませんか。九州支店でも、一度災害が発生すると、類似した災害が連続して発生したり、同じ作業所や同じ部署、同じ職種や同じ取引業者などで災害が連続する傾向があります。災害発生には必ず原因があります。人的要因として不安全行動や経験・知識不足、物的要因として設備や環境の不備、管理的要因として元請作業所・職長・取引業者事業主の管理不備といった、小事を粗末にしてきた結果が、大事つまり災害を発生させているのではないのでしょうか。再度、「安全」について『自ら考え、判断し、行動する』ことが大切です。現状に甘んじることなく更なる高みを求め改革改善を続けていきましょう。これから本格的な暑さを迎えます。昨年の反省を踏まえ真剣に熱中症対策に努め、従業員の体調管理と、災害防止活動にご協力お願いいたします。

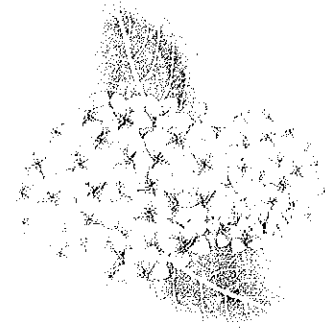


着任のご挨拶



清水建設(株) 九州支店
執行役員支店長

堤 義人



4月より、梅津支店長の後任として着任しました。兼喜会の皆様方には、日頃より弊社に対し多大なるご協力を賜りまして、厚く御礼を申し上げます。

私は福岡市東区で生まれ、大学まで福岡で育ちました。昭和57年に清水建設に入社後、東京支店管内にて現場勤務や本社勤務を経て、この度、九州支店長として35年ぶりに故郷に戻ってまいりました。

この間、福岡はたびたび訪れてはいたものの、支店長に着任し得意先へのご挨拶等で福岡を回ってみますと、その発展ぶりは目を見張るばかりであり、改めて九州支店の大きさ、支店長としての重責を感じております。

私の経歴ですが、入社して18年間は東京都郊外を担当範囲とする西東京営業所の現場にて施工管理を行いました。バブル期を挟んだ時期で、都心に所在する工場や学校が、郊外に広大な土地を求め移転するドーナツ化現象が急速に進み、その人口増加に合わせてマンション等の住宅や商業施設が建設されるという建設需要が旺盛な営業所であり、突貫工事を専門で担当させられていました。

21世紀に変わるところから、建設業には大変厳しい時代が始まり、当社もご多聞に漏れず

リストラが行われましたが、平成12年に組合の執行委員長に選ばれ、組合員の生活基盤を守るため会社との交渉に明け暮れました。

組合に行ったことで、結果として、西東京営業所を離れ、東京支店の建築部に配属されることになり、豊洲の超短工期のデータセンター、市ヶ谷の防衛庁(当時)庁舎と、特殊な工事を多く担当し、平成23年、東日本大震災のあった年には私の最後の現場となる東京大手町の読売新聞東京本社ビル建設所長を務めました。その後は、本社勤務となり東京支店の建築部長、副支店長を経てまいりました。

兼喜会との結びつきについて、私に強く印象が残っているのは、読売新聞東京本社ビルの建設工事です。この工事は、地下5階地上33階、延床面積約90,000㎡、最高高さ200mの超高層ビルを地下解体を含めて27ヶ月、新築工事だけでは20ヶ月という超短工期で、さらに超低コストで建設するという想像を絶する工事でありました。365日休むことなく1日2交代の昼夜兼行で工事を行いましたが、これまでの私の経験の中でも難度の高い工事でした。

このような突貫工事では、現場の社員や作業員の中に工程に対する先の見えない不安感や無力感が生じ、さらには働く意欲の低下、そして

工程の組み立てに無理をさせてしまうことにより殺伐とした鬱屈感が醸成され、現場全体の雰囲気は極めて悪くなることがあります。

この過酷な現場を建設所長として運営していくにあたって最も腐心したのが、突貫工事にありがちな悪しき現場の流れを排除し、現場の雰囲気を明るくすることでした。そしてそのことに力を貸していただいたのが、兼喜会の方々、そして職長の方々でした。

「『こんな工期も金もない現場で、なんで俺たちだけが頑張らなくてはならないんだ』、私の現場で働く人たちに、こんな気持ちだけは絶対に持ってもらいたくない。そのためには何をすればいいのか皆さんのお知恵を貸してほしい。誰もが悲壮な現場と思うだろうこの現場を、皆が笑顔で楽しそうに見える現場にしたい」そんな私の願いに兼喜会の皆さんがたくさんアイデアを出してくれました。長嶋選手と王選手の背番号を付けたタワークレーンや走行音が「闘魂こめて」の工事用ELV等、工事の辛さを忘れるほど楽しい現場にしてくれました。極めつけは内海、菅野選手といった現役選手を招いて現場激励をやってほしいとの要望、さすがに不可能だと思えた願いも兼喜会に背中を押される形で読売新聞に交渉に行ったところ、まさしく「至誠天に通ず」、兼喜会の思いは読売新聞を動かし実現することができました。

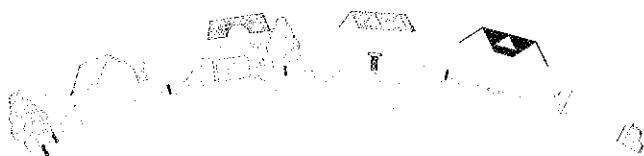
読売新聞東京本社の現場は、訪れる人のすべてが驚くほど、まったく悲壮感のかけらない明るい現場のまま、竣工することができましたが、これも兼喜会のご協力がなければできなかったことと思っております。

先月4月に九州全県を回り、お世話になって

おりますお得意先に支店長として新任のご挨拶をしてまいりましたが、九州兼喜会の方々にも営業所までご足労をいただき、多くの協力業者の方とお話もさせていただきました。もともと兼喜会と当社の結びつきは他社に比べて非常に強いのですが、九州兼喜会は協力業者間の結束が特に強く、また、「我々のところから災害を起こすわけにはいかない」という、その責任感の強さには驚かされました。このことから、九州支店の持つ強みの源を垣間見ることができたのではないかと思います。そしてこの財産を大事にしていかななくてはならいと痛感しました。

これから、東京五輪をピークとして工事繁忙時期が訪れることが予想されています。社員も足らなければ作業員も不足すると思いますが、やる人がいないからと言って、受注を控えるという消極的な姿勢では九州支店に未来はありません。兼喜会の持つ力の目の当たりにしてきた私だからこそ分かることですが、苦しい時期だからこそ、清水建設と兼喜会が車の両輪となって乗り越えていかなければならないと思っています。九州支店には兼喜会の皆さん方の力が必要です。是非ともご協力をお願いいたします。

終わりとなりますが、兼喜会各社の益々のご隆盛とご繁栄を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。



平成29年度 清水建設九州兼喜会 並びに 清水建設九州支店取引業者災害防止協議会 定時総会

日時	平成29年3月1日(水)
場所	グランドハイアット福岡
出席者	102名

— 式 次 第 —

(司会) 理事 山元 健蔵

1. 平成28年度会員物故者の黙禱

1. 開会の辞 副会長 日高 輝幸

1. 会長挨拶 会長 篠森 義晴

1. 新入会員の紹介

1. 議長選出

(議事)

- (1) 平成28年度兼喜会、災害防止協議会事業報告
- (2) 平成28年度兼喜会青年部事業報告
- (3) 平成28年度兼喜会、災害防止協議会決算報告
- (4) 平成28年度兼喜会、災害防止協議会会計監査報告
- (5) 平成29年度兼喜会、災害防止協議会事業計画案
- (6) 平成29年度兼喜会青年部事業計画案
- (7) 平成29年度兼喜会、災害防止協議会予算案
- (8) 会員の動向、その他

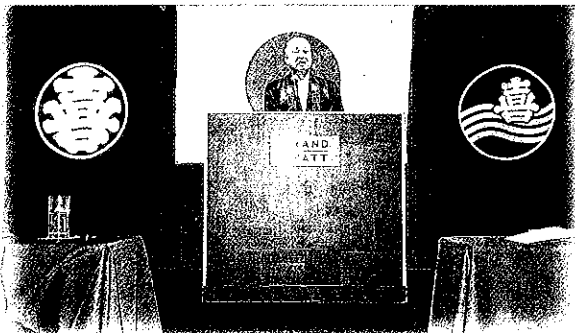
1. 閉会の辞

副会長 杉山 英治

定刻通り山元理事の司会で開催され、日高副会長の議長によりそれぞれの議案が審議され、無事承認されました。その後の懇親会では梅津支店長様はじめ、幹部の皆様にご出席して頂き、和やかなうちに幕を閉じました。



平成29年度 清水建設九州兼喜会並びに
清水建設九州支店取引業者災害防止協議会 定時総会

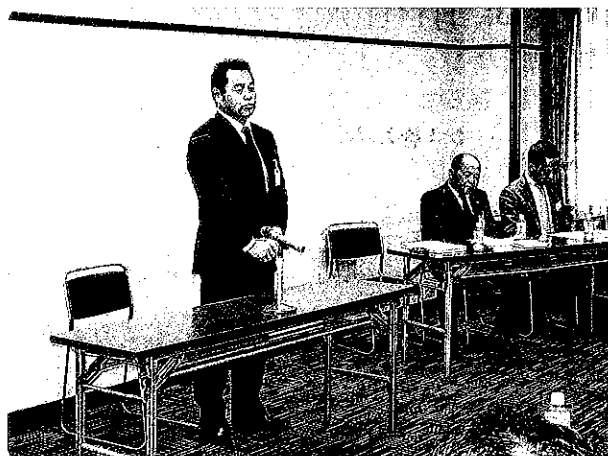
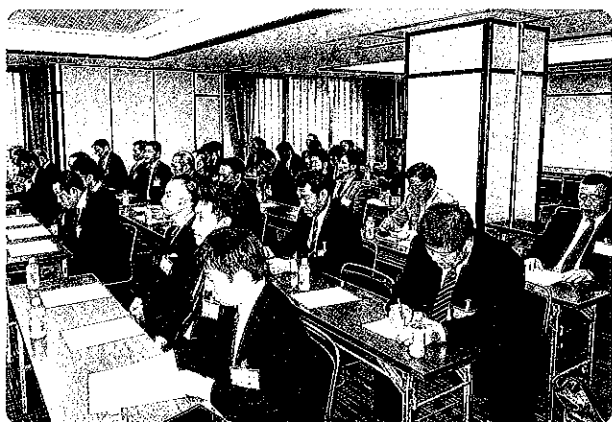


平成29年度

九州兼喜会青年部総会

日時	平成29年4月14日(金)
場所	博多グリーンホテル2号館 総会 16:30～ 懇親会 18:00～
出席者	西村委員長、青年部41名 調達部 鈴木課長様

懇親会より城山副支店長様をはじめ、支店の皆様、九州兼喜会より篠森会長、日高副会長もご出席いただきとても和やかな雰囲気です。懇親を深めることができました。



青年部支部長会議

日時	平成29年3月9日(木) 18:00～
場所	中洲 鷹勝

青年部 支店BCP訓練参加

日時	平成29年3月10日(金) 8:00～
場所	支店5階 会議室

兼喜会議事録

○全九州役員会

平成28年12月1日(木) 15:00～

場所：ソラリア西鉄ホテル

出席者：篠森会長他14名

【議題】

1. 平成29年 九州総会の件
2. 平成29年 瀬戸内オープンゴルフの件
3. 全国連合兼喜会定時総会(広島大会)の件
4. その他
5. 各支部の意見

○全九州役員会

平成29年3月1日(水) 14:30～

場所：グランドハイアット福岡

出席者：篠森会長他17名

【議題】

1. 平成29年 九州総会の件
2. 全国連合兼喜会定時総会(広島大会)の件
3. 青年部の件
4. 安全大会の件
5. その他
6. 各支部の意見

兼喜会議事録

○理事会

平成29年1月11日(水) 10:30～

場 所：兼喜会事務所

出席者：篠森会長他7名、調達部より谷口部長様

【議題】

1. 平成29年 九州総会の件
2. 瀬戸内オープンゴルフの件
3. 青年部の件
4. その他

○理事会

平成29年2月9日(木) 12:00～

場 所：兼喜会事務所

出席者：篠森会長他6名、調達部より谷口部長様

【議題】

1. 平成29年 九州総会の件
2. 青年部の件
3. その他

○理事会

平成29年4月4日(火) 12:00～

場 所：兼喜会事務所

出席者：篠森会長他10名、調達部より谷口部長様

【議題】

1. 第1回全国連合兼喜会支部長会議報告の件
2. 全国連合兼喜会定時総会(広島大会)の件
3. 青年部の件
4. 全九州役員会及び瀬戸内オープンの件
5. その他

○理事会

平成29年5月10日(水) 12:00～

場 所：兼喜会事務所

出席者：篠森会長他10名、調達部より谷口部長様

【議題】

1. 全国連合兼喜会定時総会(広島大会)の件
2. 安全大会の件
3. 全九州役員会及び瀬戸内オープンの件
4. その他

諸 行 事

新年互礼会

日 時／平成29年1月4日(水)

時 間／16:00～

場 所／支店5階会議室

安全祈願祭

日 時／平成29年1月11日(水)

時 間／8:00～

場 所／大本山成田山久留米分院

豊川稲荷祭

日 時／平成29年2月22日(水)

時 間／8:45～

場 所／支店社屋屋上

会員の動向

入 会

○(有)佐藤工務店(左官) 29.3.1

佐藤 功一

○(株)ナラタ(研・解体) 29.3.1

榎田 将悟

(株)池間(鉄筋) 29.3.1

池間 秀勝

退 会

○TMスチール(株)(鉄筋) 29.1.23

近本 秀徳

会員名変更

○(株)小園硝子商会(硝子) 29.1.1変更

旧会員名：小園 啓一→新会員名：小園 洋平

○松永組運送(株)(運送) 29.1.12変更

旧会員名：松永 芳彦→新会員名：山口 定巳

○(株)深町組(クレーン) 29.1.18変更

旧会員名：深町 等→新会員名：菅 博子

○高島屋スペースクリエイツ(株)(家具・内装) 29.3.1変更

旧会員名：鳥山 昌男→新会員名：御厨 薫

○関ヶ原石材(株)九州営業所(石工事) 29.3.15変更

旧会員名：前田 高輝→新会員名：藤田 泰明

○ダイダン(株)(電気設備) 29.4.1変更

旧会員名：坪田 具也→新会員名：平田 博英

○須賀工業(株)九州支店(空調衛生設備) 29.4.1変更

旧会員名：古野 保彦→新会員名：高松 暢宏

発行所 福岡市中央区渡辺通3-6-11 福岡フコク生命ビル
清水建設九州支店内 九州兼喜会

印刷所 川本印刷株式会社
TEL 092-591-5110